

コバノミミナグサ	<i>Cerastium furcatum</i> Cham. et Schlttdl. var. <i>ibukiense</i> Ohwi	絶滅危惧I類
(環境省:絶滅危惧 I B類)		ナデシコ科
選定理由	生育面積が狭く、過度に分断されている。個体群が極めて小さい。	写真(岐阜県博物館)
形態の特徴	ミミナグサに似ているが、萼が大きく葯6mm、花弁は萼より長く7-8mm。朔果は歯状に10裂し、長さ約10mm。本種はヨーロッパの <i>C. fontanum</i> Baumg. や <i>C. pusillum</i> Ser. と同種の可能性も考えられるとされている。	
生態的特徴	山地の岩礫地に生育する。	
分布状況	伊吹山の900-1370mあたりに生育する。	
減少要因	生育地の道路開発による。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献	北村四郎(1968)滋賀県植物誌p131	

文責:千藤克彦